

2013年度事業活動方針案、計画案

今年度は、昨年同様3つの事業を柱にします。

地域の課題を知り、他の社会資源とも連携をとることを大切に、地域における信頼を得、地域のニーズに応えられる社会資源として成長することを目標とします。生活クラブとの協同により、配食に関して新規事業開始の可能性を探ります。働きにくさを抱える人との「共に働く」をすすめます。

(1) 地域コミュニティ事業

■ みんなの居場所「わ〜くわっく北本」サロン

- ・ 居場所の意義を再確認し、居場所の機能を充実させ、利用者の増加を目指します。
- ・ 「居場所をたのしもう」をコンセプトに、気軽にだれでも参加できる企画を行います。
- ・ 定期的な教室は継続し、新規教室も企画します。
- ・ 夜の時間帯など通常の営業時間帯以外の居場所の有効利用を検討しイベントを企画します。
- ・ 支部委員会の活動に連携協力し、生活館の賑わいを生み出すような企画を実施します。
- ・ サロンスタッフのスキルアップのための内部研修を実施します。
- ・ ボランティア募集を地域や生活クラブ組合員に広く呼びかけ、繋がりがより広がるサロン運営を目指します。

■ 食事作り

目標 食数 : 3300食/年 月平均 : 275食

- ・ 安心・安全で家庭的な料理を提供することで、居場所の機能の充実に寄与します。
- ・ 利用者獲得のため「わ〜くわっく北本」ならではの看板メニューの考案に努めます。
- ・ 居場所の機能の充実のため、平日のランチ以外に、おもてなし料理などの多様な食の提供について企画します。

■ 一時託児・親子のひろば

- ・ 利用者の獲得を目指すために外部に月間のお知らせの配布を継続します。
- ・ 離乳食学習会は、好評であるし、また子育ての初段階としての親支援として有効なため、継続します。またニーズに応じて、定期的な日程以外にも開催します。
- ・ 教室利用者から親子のひろばへの利用につなげ、母親のコミュニケーションとしての場の提供となるように働きかけます。
- ・ 一時託児の利用は低迷しているなかにも、核家族の母親の頼れる場であり、いざという時の場所として広報していきます。
- ・ 長い休み期間の子供向けイベントを企画します。

(2) 地域生活サポート事業

■ 生活サポート

目標 年間総サービス提供時間 1,800 時間

- ・ 利用者が地域生活を継続できることを目的とした、利用者の立場に立った、てとてらしいサポートとサービス提供を行います。
 - ・ てとての「個人情報保護方針」を厳守し、利用者の情報を共有します。
 - ・ スキルアップのための内部研修を実施します。
 - ・ 新規利用者獲得とスタッフ増員のためのチラシを地域に配布します。
- (大野)

■ 埼玉県障害児（者）生活サポート事業

- ・ 移送サービス・一時預かり・外出援助のサービス提供を開始します。
- ・ 地域に信頼される事業所となるよう、より良いサービス提供実施に努めます。
- ・ 地域への広報活動を行い、地域への周知度を高めます。
- ・ スタッフの内部研修を行います。

■ 配食事業

- ・ 地域で生活する人や組合員に、配食を通して地域生活のサポートを行うことを事業化できるか、生活クラブと協同し、実験的取組を行います。

(3) 福祉ネットワーク作り事業

■ コンサート開催

- ・ 被災地支援ボランティア団体宮北会との連携により、コンサートを企画し、被災地支援活動に協力します。

■ 埼玉ワーカーズコレクティブ連合会の活動

- ・ 福祉部会・食会議に参加し、ワーカーズコレクティブ間の情報共有・連携に努め、私たち自身が成長するために活動に参加します。
- ・ 熊谷・大宮エリア会議に参加し、地域の課題を共有します。
- ・ エリア会議から連合会の運営委員を1名選出し、連合会の活動に参加します。
- ・ 大阪で開催される WNJ 全国会議に参加します。

■ コミュニティケアクラブ埼玉（CCS）の活動

- ・ 生活クラブたすけあいのシステムであるエコロの熊谷ブロックコーディネートを行い、制度がよりよくなるための意見を述べます。
- ・ CCS の理事を1名選出し、CCS の運営に参加します。

■ その他

- ・ 近隣のお祭りなどイベントに参加し、広報活動を行い、地域の社会資源との連携を深めます。
- ・ 熊谷地域協議会に参加し、地域の課題を共有します。

(4) 福祉有償運送事業

目標 福祉有償運送回数 200回

- ・ 安全・安心な移送サービス提供を行います。
- ・ 近距離だけでなく、利用者が楽しみに参加できる企画を検討します。
- ・ 利用者の獲得のために広報活動を行います。